

令和2年度 第2回 広報公聴委員会 会議録

開催日	令和2年 7月 3日 (金)
会議時間	午前10時00分 ~ 午前11時55分
開催場所	佐倉市議会 議会棟1階 全員協議会室
出席委員等	[委員長] 高木 大輔 [副委員長] 斎藤 明美 [委員] 川口 絵未、高橋 とみお、宇田 実生子、石井 秀明、 押木 孝和、密本 成章、岡野 敦、木崎 俊行
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 向後 昌弘 [書記] 宮崎 由美子、野村 忍、井上 睦、山本 あずさ
協議事項	(1) 議会だより（6月定例会号）について (2) タイトルの改行位置について (3) 議案に対する会派等の意見について (4) 議会報告会・意見交換会について

【決定事項】

(1) 議会だより（6月定例会号）について

□本日提案したレイアウトに指摘のあった点を修正し、発行にむけて編集作業を進める。

(2) タイトルの改行位置について

□今回は従来そのままとし、文章の途中で改行やスペースを設けない。今後、改行やスペースの可否だけでなく、「見やすい紙面づくり」という大きな視点で審議を継続していく。

(3) 議案に対する会派等の意見について

□市民オンブズマンひまわり会、議席番号3番の議案に対する会派等の意見については、指摘のあった点を修正し、再提出を求める。最終確認は、委員長、副委員長が行う。

(4) 議会報告会・意見報告会について

□開催の有無を含め、意見交換会のテーマ、開催方法等についての意見を会派等で取りまとめるうえ、次回の会議で協議する。

【主な意見等】

(1) 議会だより（6月定例会号）について

(2頁 写真について)

□黒が沈みすぎているものがあるので、白を上げ、明るくする。

(2頁 市章について)

□市章のマークについて、背景色など使用する際の指定があるのか確認する。

(2頁 新型コロナウイルス感染症対策に係る要望書の記事について)

□3段組になっているため、1行が短く読みにくい。横書きにするなど、見やすくできないか。

→提出した要望書そのままの紙のイメージを掲載する。

(2) タイトルの改行位置について

- これまで代表質問のタイトルは、スペースを設けず、文章の途中で改行をしていないが、読みやすいように、改行位置に各議員の裁量を認めていただきたい。
- 改行を認めるのは、1行に収まらない場合のみとするのか、1行で収まる場合も認めるのか議論が必要。例えば、1行に収まる文章を何行も使って表現することもできるので、一定のルール作りは必要だが、読みやすいよう改行することには賛成。
- 2行目以降の字下げの位置はどうするか。何文字空けるかは各個人の感覚で異なるので、一人一人が自由に指定できるとなると編集が煩雑になる。
- 改行した場合、次の行は、上揃えまたは下揃えなど統一したほうがよい。
- 改行しなくとも、限られた中で工夫することが大切ではないか。これまででも、意味合いが変わらないよう表現を変えて1行に収めたり、一番伝えたい事項を行の先頭にもってくるよう言い回しを工夫したりして、各自努力してきた。
- 行数の中であれば、上下何文字空けるかなど、本人の裁量で認められてもよいと思う。

(3) 議案に対する会派等の意見について

- 議案に対する自分の意見を言うのはよいが、他者の心情を推測で述べるべきではない。例えば、「コロナ禍で何ら痛みを感じない議員や市長」という表現について、痛みを感じない者はいないはずであり、確認された事実ではないことは、訂正すべき。
- この欄については、議案に賛成または反対した理由を述べる場であり、議案に反対した他の議員に対する感情論を書くべきではない。公的な議会だよりの中で発信する文章なので、客観的事実に基づき記載すべきであり、過度な思想や感情的な表現は控えるべき。
- 発議案については、市長が提案したものではなく、また、市長は表決する立場にもないので、発議案に対する意見として、市長への批判を述べるべきではない。
- 議会だよりは、議員が極力裁量の幅をもって記事を書くべき。意見を制限したり、書く内容を指定したりすると、議員の持ち味が出せない。自己の責任で、各議員が本当に書きたい内容を書くことが必要ではないか。
- 議会だよりの発行責任者は議長であり、一人で発行するものではない。佐倉市議会全体に係る話であり、議会としての品位を保つ必要がある。そのために、広報公聴委員会にて一定のチェックを行っている。感情的な意見を述べるのであれば、各議員が発行する議会報告等の中で行えばよい。

(4) 議会報告会・意見交換会について

- 新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見込めない中、今年度は中止すべきではないか。
- コロナ禍の状況だからこそ、打撃のあった方々の意見を伺いたい。
- 広い部屋での開催やオンラインでの開催など、多様な方法を検討すべきではないか。

【次回の開催について】

令和2年9月2日（水）本会議終了後

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 高木 大輔